



測定値が維持管理計画値を超過した理由(※)

※1 港清掃工場 1号炉 令和3年5月9日(日) 4:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が108ppmを記録した。

原因はごみ質の悪化により、燃焼が不安定になったことによる。

燃焼空気量の調整、フィーダ及びストーカの運転による適性なごみ層厚の確保、ごみ供給量の確保を行い、燃焼状況が改善した。

※2 渋谷清掃工場 1号炉 令和3年5月9日(日)11:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で79ppmを記録した。

原因は、燃焼が不安定となり、燃焼空気が不足したことによる。

直ちに燃焼空気量の調整及び炉内酸素濃度設定値の変更による燃焼改善を図り、正常な燃焼状態に回復した。

※3 板橋清掃工場 1号炉 令和3年5月18日(火) 21:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で176ppmを記録した。

電気系統の不具合により誘引ファン回転数が低下し、炉内圧力が上昇した。

炉内圧力を下げるために燃焼空気量を抑えたことが原因である。

誘引ファン回転数制御装置の再起動により、誘引ファン回転数及び炉内圧力が正常に復旧したため、燃焼空気量を正常に戻したことで燃焼状態が回復した。

令和3年度 維持管理状況(5月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より